



「茶畑からの社会貢献」を茶畑オーナーと創り上げる  
おぶぶのコミュニティー専門誌

# 茶畑オーナー通信

「茶畑からの社会貢献」 特集号



特集

## おぶぶ「茶畑からの社会貢献」要覧

—みなさまからのご支援でこんな社会貢献、やっています!—

### 今月のお茶 琥珀のほうじ茶

今月の表紙：様々な社会貢献の模様  
中央は、素敵なおばあちゃんの笑顔に触れたジェニファー。





# 芳醇な香りと深い味わい 琥珀のほうじ茶

こんにちは、おぶぶの竹内です。今号は、毎年恒例の夏のお茶、きらめきの煎茶、太陽の煎茶（夏）にあわせてお届けする夏の煎茶を焙じたお茶、琥珀のほうじ茶をご紹介します。



おもてなしチーフ 竹内かよ

おぶぶのほうじ茶は、煎茶となる新芽を収穫したあとにもう一度刈る、通称「刈り直し番茶」を使っています。

番茶を炒つても十分に甘みのあるほうじ茶に仕上がるのですが、この琥珀のほうじ茶は、「夏の煎茶」を炒っています。

なので、ほかでは手に入らない上等なほうじ茶になっています。

大きな違いはやはり香りでしょうか。

熱湯でさつと淹れても美味しいのですが、冷たい水で抽出するお茶は最高です！！！！琥珀色に輝くほうじ茶。

夏の定番の水出し茶にぜひ活用ください。



花のようなふくよかな香り  
贅沢に煎茶をほうじた、ワンランク上の味わい  
琥珀のほうじ茶

明らかな香りの違い「琥珀のほうじ茶」

## オーナー茶園より

### あっけーの「茶畑日記」

（2013.5.11〜2013.7.10）

今は夏のお茶を刈ってます〜。遮光ネットもかぶせ終わったりして二番茶の大詰めですね。ひたすらめくっては刈り、めくっては刈りの、毎日暑さとの戦いですわ〜。

お茶の収穫は刈るだけではなくて、刈った後の芽運びもかなりの仕事量なんです。今はインターンの子たちにも手伝ってもらい、助かっています。女子力も三人よればハイパワーです。

この夏のお茶もけっこういい出来に仕上がってますよ！そしておが子の茶畑デビューはいつのことやら・・・めっちゃ期待してるよ〜、かずは！！！！



強力な助っ人たち。むっちゃ助かるう〜！（笑）

## きょうのかずは

KYO-NO KAZUHA



一葉、最近なんだか日が経つごとに、ガスがズする時間が長くなってきた気がします。抱っこしてると寝るんですけど、布団に寝かせると起きて泣くんです。なので、ずいっと抱っこしてます！  
病院に居る時から、ずっと添い寝してるんですけど、寝る時に一葉の横顔に顔をうずめてギューとしながら寝るんです！もう最高に幸せの時間ですね。  
赤ちゃんって、なんであんなに柔らかくて気持ちいいんですか！！  
くっついてると、すごく落ち着いて、疲れも吹っ飛んじやいます☆



もう大物の風貌？（笑）



インターン直筆の「ハロー！オブブ」日記

ハイ！ こんにちは！  
インターンのシモナです！



リトアニアの自然と少女の私

こんにちは皆さん、  
私はシモナともうします。おぶぶ茶苑で  
インターンシップをしています。二十四歳  
で、リトアニア人です。リトアニアをし  
ていますか？

リトアニアはヨーロッパの東がわにあっ  
て、バルト海の小さい国です。日本に今年  
の四月に来ました。その前には、四年間イ  
ギリスの大学で勉強していて、卒業してか  
ら、半年ぐらいドイツにある会社で働いて  
いました。大学で勉強している時、日本の

サークルに入って、すぐ日本の文化に興味になりました。日本に住んでいる  
人はやさしくて思いやりがあるし、日本の料理はおいしいし、日本のアーキテ  
クチャと景色は素晴らしいし。ですから、ドイツの仕事の終わりの後で日本に  
来ることにするのは簡単でした。

それに子供の時からいつもお茶が好きで、  
毎日お茶のカップを四つとか五つ飲んで  
います。長い間紅茶ばかりしていたが、  
ある日に日本人の友人に日本茶をもらっ  
てから、すぐ好きになって、お茶のこ  
とを色々習いたかったです。ですから、イ  
ンターネットでおぶぶのインターンシッ  
プを見つけられてよかったです。



おぶぶの茶畑の中の私

今はお茶の文化を勉強しながら、おぶ  
ぶの国際事業のために色々なプロジェクトをしています。たとえば、おぶぶ  
が海外のオーナープログラムを作ったり、海外の会社にお茶を売ったりしよ  
うと思っているので、そのために英語のウェブサイトを新しく直しています。  
それに、時々海外のお客さんがおぶぶに来るから、ツアーとかイベントを手  
伝っています。和東に行った事がありますか？ イベント中に茶畑に行っ  
たり、お茶を飲んでみたりできますよ。



インターン仲間のマンジと農作業中

インターンシップの時、面白いひと  
にたくさん会ったり、お茶をいっぱい  
飲んだり、毎日綺麗な景色を見たり出  
来たので、とても嬉しです。ですから、  
インターンシップの後でおぶぶを出て  
も、また日本に戻りたいです。  
将来はイギリスでお茶の店をひらきた  
いと思っています。

※この文章はシモナ自身が書いたものです。



# おぶぶ 「茶畑からの社会貢献」要覧

みなさまからのご支援でこんな社会貢献、やっています！



おぶぶには、「日本茶を世界へ」・「農業を楽しく」・「茶畑からの社会貢献」と、3つの企業使命（ミッション）を掲げています。そのうちの1つ「茶畑からの社会貢献」に関し、従来よりさまざまな活動に取り組んでおります。

現在、その活動内容としては、

- 福祉施設の茶摘体験やお茶会などのイベントへのご招待
- 年6回旬のお茶のお届け（茶畑オーナー茶の寄付）
- 障がい者の方々の作業所への、お茶の袋詰め加工やラベル貼りなどの軽作業 依頼
- 福祉施設で使用するお茶の格安提供

今号では、その主立った活動について、オーナー様にもお知らせしたく、ご紹介してまいります。

## ◎多機能型障碍福祉サービス事業所

### 社会福祉法人 いづみ福祉会（京都府木津川市）

お茶の加工から、パンや草木染めの染色工房、カフェなどを併設し、幅広い仕事をされています。

5月に茶畑オーナーさまにお送りした太陽の煎茶（春）の小分け袋のお茶詰めを行っていただきました。



- ① 社会福祉法人 いづみ福祉会の作業風景。
- ② ほうじ茶ティーバッグの詰め作業。仕事も丁寧に行っていただいています。（いづみ福祉会）
- ③ 作業中のグリーンフィールド・松尾くん。おぶぶとの付き合いも長く、仕上がりに関しては完全に信頼しています。

## ◎知的障碍者小規模通所授産

### 施設工房グリーンフィールド（京都府木津川市）

3年前から軽作業の依頼をしています。毎年年末にお送りしている茶畑カレンダーの穴あけなども作業のひとつ。

おぶぶの仕事を熟知している松尾くんは、手馴れたようすで作業しています。



③



◎児童養護施設・乳児院 京都大和の家 (京都府精華町)

二〇一〇年施設の子供たち二十名ほどを、生茶葉や野山の草木を使った草木たたき染め体験にご招待。その際には、茶畑オーナーさまにも協力いただき、自然の豊さ、人の温かさ、人と自然の調和を肌で感じてもらいました。茶畑オーナーの松井映樹さまの協力のもと実現しました。

- ④ 京都大和の家での草木染めの講習風景。子供たちも真剣に話を聞いている。
- ⑤ 名前入りの旗をみんなで製作中。
- ⑥ 一日の作業が終わり、それぞれ目一杯楽しんだ子供たち。ここで学んだ体験が、少しでもこの子供たちの将来に役立ったらいいと思う。



◎児童自立支援施設 精華学院 (奈良県奈良市)

毎年 春の茶摘体験にご招待。今年も3回目となり恒例の行事となりました。

この施設にはあたたかな家庭生活には恵まれず、困難な環境にある子供たちが多く生活しています。ほんのひとときでも自然とふれあい、人と自然の調和を感じてもらい、温かい気持ちになってもらえたらと思います。

- ⑦ 茶摘みをする精華学院の児童たち。
- ⑧ 自分たちで摘んだお茶の香りを嗅いでみる。収穫の喜びもひとしお。
- ⑨ 摘んだ茶葉を釜炒りで仕上げる。お茶がどういう風に仕上がっていくかを体験してもらう。



このように、おぶぶでは「茶畑からの社会貢献」を行なっています。ご一読いただき、少しでもこのような活動へのご理解が得られれば何よりです。これからも、茶畑オーナー様のお力添えのもと、さらにお茶で社会に貢献できるよう精進してまいります。



# 特別養護老人ホーム わらく お茶会報告

和束町内にある特別養護老人ホーム「わらく」。今現在、この老人ホームには、町内外あわせて五十名の入居者さんがおられます。そして、おぶぶの茶畑オーナーを寄付するという形で、年6回旬のお茶をお届けしています。今回、その一環として、新茶のふるまいのお茶会を開催しました。

## 特養入居者さんたちとの交流

わらく2階にある、茶畑が一望できる談話室にみなさん、お集まりいただきました。

8名のおばあちゃんたち（合計年齢七百歳以上）、いつもなら自由時間にあたる午前中を使ってお茶会をさせていただきました。前日からとても楽しみにしてくださっていたと聞いていました。この日の最長齢はなんと百歳！。みなさん、とってもお元気！

## おぶぶのお茶を堪能

まずはほうじ茶でおもてなし。

スタッフの自己紹介もして、いよいよかぶせ煎茶の淹れかた実演です。湯冷ましたお湯を注ぎとろりとした一煎目。濃厚な味わいにみなさんから「美味しい！」のお声。そして温度を少し高くして二煎目。味の違いも楽しんでいただきました。洗みのあるお茶には甘い上菓子があいます。

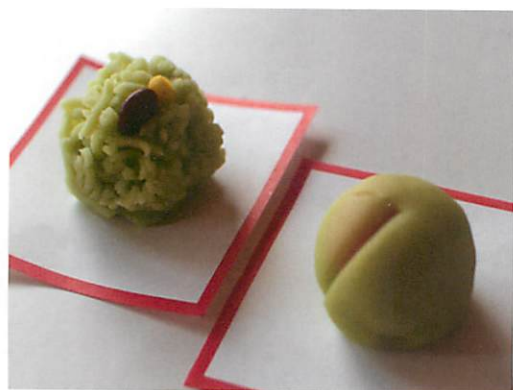
この日は『ほたる』『青梅』の2種類をご用意。

そして三煎目を飲んでいただき、最後は玄米茶となりました。



まずはお茶の説明からスタート  
(京都大丸おぶぶカフェ店長の芳野隼人)

普段からお茶には親しまれているのですが、急須でじっくりと淹れたお茶は久しぶりで、味の変化を大変楽しんできました。



お茶菓子「ほたる」と「青梅」

素敵な笑顔に触れ、更なる活動推進を心に誓う！

会の最中にはお茶好きの旦那さまのお話や実家でお茶作りをしていた時の話、日ごろの菜園の様子など、おばあちゃんたちといういろいろな話がありました。

一緒に手伝ってもらったインターン生のジュニアもとてもかわいがられ、黒髪のクリクリしたヘアースタイルをさわってもらいかわいいねと声をかけていただきました。

おぶぶの地域貢献活動としても、まだまだ回数は少ないですが、様々な福祉施設でこのようなお茶会を続けて行きたいと思えます。



上：おばあちゃんたちとすっかり打ち解けたジュニア  
下：参加くださった元気なおばあちゃんたち。素敵な笑顔が印象的でした。





茶畑オーナー様と共に

「お茶」で社会に貢献したい!

【お茶だからこそできる社会貢献】

二〇〇九年七月、おぶぶの三つ目の使命（ミッション）、「茶畑からの社会貢献」を掲げました。以来四年間「おぶぶ」でできる、またおぶぶにしかできない社会貢献とは何か？」を考え、活動が続けてきました。そして分かったこと。それは「お茶だからこそできる社会貢献がある」ということです。

そして二〇一二年冬、東日本大震災の被災地約四〇ヶ所を訪問し、合計千人以上の方々にお茶を飲んでいただき、それは確信に変わりました。でもそれは、紛争地での医療活動のような「生命の存続」に直結する活動に比べるとゆるやかで「社会貢献」などとは仰々しく言うべきものではないかもしれません。それでもなお一杯のお茶には、人と人をつなぎ、明日への活力をもたらすひと時を生み出す力があって、だからこそ「お茶だからこそできる社会貢献」を推進すべきだと考えています。

【本業は社会貢献か？商売か？】

また、この四年間「茶畑からの社

会貢献」を掲げて活動してきて、根本的な問題、「おぶぶの本業とは一体何か？」という問題にもぶつかりました。

京都おぶぶ茶苑は、二〇〇四年

「一杯のお茶に感動し、その感動を世界に届けたい！」という思いからスタートしました。そしてこれまでお茶の販売という「商売」を本業としてきました。「商売」を本業とするならば、「社会貢献」は本業で得た利益の範囲でやるべきです。しかし実際のところ震災復興お茶キャラバンなどの活動では、その必要資金（約百六十万円）を別途ご寄付にて賄い、本業のはずの「商売」をストップして全力で活動しました。

だから今振り返ってみて、おぶぶにとつて、「商売」は本業ではなく、本当は「お茶で社会貢献すること」が本業「なのだと思いついたのです。

【自立と社会貢献】

ではなぜ始めから、おぶぶの本業を「社会貢献」としなかったのでしょうか？それは社会に貢献するためにまず必要なことは自立だと考え

ていたからです。自立しないと社会貢献はおろか、存続さえできません。

おぶぶを設立した当初の十年前、カネもコネも技術も経験も何もないゼロからのスタートだった僕たちは、自立から最も遠い存在でした。だから「お茶で社会に貢献したい！」という想いはあれど、自立すること（生き延びること）が何より先決でした。

あれから十年、あがきにあがき続け、茶畑オーナー様からの絶大なる支援を得てなんとか自立できるようになってきました。そして今、原点に戻り、本当にやりたいこと、つまり「お茶だからこそできる社会貢献」にまっすぐ邁進すべきでは？という想いが募ってきたのです。

【おぶぶを非営利組織に変更する！】

今こそおぶぶの本業を「商売」から「社会貢献」に変え（もちろん自立するための「商売」は続けながら）、おぶぶだからこそできる三つの使命、「日本茶を世界へ」「農業を楽しく」「茶畑からの社会貢献」にまっすぐ邁



非営利団体【京都おぶぶ茶苑】の組織イメージ図

進するべき時だと考えています。

そのような考えから、今計画していること。それはおぶぶを「茶畑オーナー様で構成する非営利組織」に変更することです。その際には、おぶぶ代表あつきーを筆頭におぶぶの現運営メンバー全員も一坪茶畑オーナーになり、「お茶を作る茶畑オーナー」と「お茶を飲む茶畑オーナー」が一丸となつて、三つの使命に邁進する非営利組織にする所存です。

ここまでお読みの茶畑オーナー様！お互いの結びつきをさらに強め、「お茶だからこそできる社会貢献」に向かつて共に邁進し、ゆるやかに世界をもつとほっこりした場所に変えてゆきましよう！



～ 日本茶を世界へ ～

- 5/8 (福岡県宗像市) ・ 5/20 (和歌山県田辺市)  
ネットを使って海外市場開拓～講演

おぶぶの事例を参考に、海外に向けた普及方法を紹介。みなさん熱心に聞いてくださいました。これからの繋がりは世界規模です。



- 5/30  
スイスより茶摘体験

日本茶に高い関心があるスイスのみなさん。煎茶、玄米茶、ほうじ茶も飲んでいただきました。



- 6/3  
インターン生 ジェニファー来日

9人目のインターン生、ジェニファー(21歳)がやって来ました。米・オハイオ州出身で、オハイオ州立大学生。8月まで滞在予定です。



- 6/11  
ティーツアー

来年から来るインターン生のための下見見学ツアーです。大いに興味を持って見てもらえれば幸いです。



～ 農業を楽しく ～

- 5/25  
日本一の茶摘み体験

順延になってしまった今年の日本一の茶摘み体験。結果がでるのは秋の予定です。乞うご期待を!!



活動報告  
トピックス

茶畑オーナーさまのおかげで、たくさんの方が活動が実現しました。ありがとうございます。

- 7/6  
夏の茶摘み体験

夏の新茶(二番茶)の茶摘み体験。初夏の太陽を一身に受けながらの茶摘み体験です。



～ 茶畑からの社会貢献 ～

- 6/8  
女性起業家セミナー奈良

奈良で活躍されている女性起業家さんたちに向けての講演会を行いました。モチベーションの高い人たちがばかりで、こちらが刺激を受けました。



- 6/12  
和束特養老人ホーム わらくお茶会

同じ和束町内にある老人ホームのおじいちゃんおばあちゃんに、おぶぶのお茶の淹れ方を紹介しました。



～ 先々の予定 ～

- 9/1  
琴とタブラの演奏会

和束町の古民家にて、琴とタブラの演奏会を行います。日本とインドの民族楽器の融合をお楽しみください。



- 9/26～10/10  
おぶぶフランスお茶会ツアー

ヨーロッパ初進出!!  
ヨーロッパのみなさんにおぶぶのお茶は気に入ってもらえるか・・・頑張ります。



※ 次回の発送は10月1日頃の予定です。

● 編集後記「ぶぶ漬けたバヤー」

今年は空梅雨かと思いきや、集中豪雨的な雨も多いですね。全然降らないと心配ですが、降りすぎるとこれまた良くない……。梅雨明け真近、夏本番にもお茶は欠かせませんよ!  
それにしてもテレビ「ためしてガッテン!!」でほうじ茶炒り器(焙焙)を紹介いただきたくさん売れました。ただいま入荷待ちです。。。窯元さん汗だくで製造中!!。(編集長 竹内加代)

今日のオ＝ナ＝状況

(2013年6月末日現在)

- 人数: 総数571名 ●坪数総計: 624坪
- 配送先: 10カ国(日本、アメリカ合衆国、ドイツ、フランス、韓国、オーストラリア、台湾、スイス、イギリス、ハンガリー)
- 人数の多い都道府県: 1位 東京、2位 大阪、3位 京都

企画・編集



〒619-1201 京都府 相楽郡和束町 園 大塚2  
フリーダイヤル 0120-309-022 FAX 0774-78-2215  
Mail obubu@obubu.com おぶぶ 検索